

（十二月物語）

劇団仲間公演

森は生きている



詩情あふれる舞台
美しい音楽
世界中の子ども達の心を
とらえおとなの胸をうった
感動の名作！

サムイル・マルシャーク・・・作
湯浅芳子・・・訳
演出・・・飯塚 彰
（岩波書店版）

日時 2007年 12月19日(水) 開演午後6時30分(開場午後6時)
会場 羽村市生涯学習センターゆとろぎ 大ホール
料金 前売り 大人3,000円/4歳から高校生まで2,000円
前売りグループ割引(10名以上で購入) 大人2,700円/4歳から高校生まで1,800円
当日 大人3,300円/4歳から高校生まで2,200円

森は生きてゐる (十二月物語)

作-サムイル・マルシャーク 演出-飯塚 彰 訳-湯浅芳子

音楽-林 光 美術-松下 朗/内山 勉 照明-森脇清治
 効果-秦 和夫/富田健治 振付-石田種生 衣裳-渡辺園子
 舞台監督-高田 潔 制作-小田芳信

ふぶきにとざされた冬の森に咲いたマツユキ草
 それは「四月の精」から、心やさしい「みなしご」への
 とくべつな贈り物でした

ある大きな国に、わがままな女王さまがいました。ある年の大晦日。気まぐれな女王さまがとんでもないおふれを出しました。「新年までにマツユキ草をもってきた者にはかごいっばいの金貨をあげます。」

欲ばりな叔母さんとその娘は、金貨がほしくて、働き者のみなしごの少女を真冬の森へマツユキ草をさがしにやりました。

今は冬。マツユキ草は四月に咲く花です。あるはずがありません。少女はここへ死にそうになりながら、森の中をさまよっていると、金色の光が見えました。十二の月の精たちの焚火です。十二の月の精たちは大晦日の晩に集まって、年に一度のお祭りをしますのです。

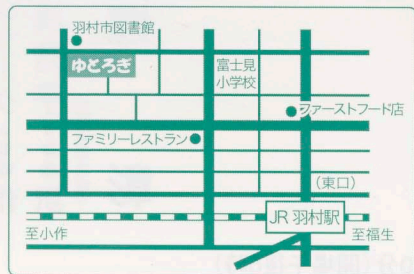
燃えろ 燃えろ あざやかに 夏はカッカと照るだろう
 冬はなるたけ暖かく 春はやさしく照るがよい
 燃えろ 燃えろ 明るく燃えろ
 消えないように どんどん燃えろ

みなしごがやさしい少女であることを知っていた十二の月の精たちは、森の片すみに一時間だけ春をよびました。そして四月の精はみなしごにマツユキ草と指輪を贈り、十二の月の精に会ったことを誰にもいってはいけないとしました。

叔母さんと娘は、少女のつんできたマツユキ草をもって、女王さまの所へ行きました。するとどうでしょう。女王さまは自分もマツユキ草をつみに森へ行きたいといいたしたのです。

1959年初演以来、1900回を超える上演回数で全国の子どもから大人まで魅了した感動の名作

十二月の精	十一月の精	十月の精	九月の精	八月の精	七月の精	六月の精	五月の精	四月の精	三月の精	二月の精	一月の精	ウサギ	リス2	リス1	カラス	オオカミ	若い兵士	老兵士	鼓手	お布れの将校	お布れの将校	お布れの将校	東の国の大使	西の国の大使	検事	警護隊長	総理大臣	博士	女官長	女王	娘	老婆	みなしご	
兼松	小林	田中	鈴木	吉田	高木	鶴田	木立	小倉	飛田	更井	古川	濱谷	矢ノ	山	関	鎌	木	生	関	大	鈴	飛	木	高	新	伊	前	鹿	渡	小	二	大		
正敏	利也	誠	志門	委世	美子	まや	輝一	晃治	伴睦	陽子	友	陽	友	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大



チケット取扱所 ゆとりぎチケットカウンター(9:00~17:00/月休)
 羽村市スポーツセンター(9:00~17:00/月休) 042-555-0033
 マルフジ各店(羽村・福生・青梅地区)
 西多摩新聞社チケットサービス(フリーダイヤル0120-61-3737)

チケット発売開始 平成19年9月21日(金) 午前9時から ゆとりぎ窓口のみ
 9月22日(土)からは、それ以外のチケット取扱所、ゆとりぎでの電話及びインターネット予約ができます。
 親子席・保育あります。(要予約)

主催：羽村市教育委員会
 企画運営：ゆとりぎ協働事業運営市民の会
 協力：(特)子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩

〒205-0003 羽村市緑が丘1-11-5
 羽村市生涯学習センターゆとりぎ
 電話042-570-0707
<http://www.hamura-tokyo.jp/>

キャスト